

## お金を使う ①お金はどこからやってくる？（20分）

【ねらい】 ■ お金を使う「支出」は、「収入」があってはじめて成り立つことを理解する。

■ 通常「収入」は、「働く」ことで得ることを理解する。

■ 働くことで「社会の経済活動に参加・貢献する」ことを理解する。

【評価のポイント】

■ 家族の支出は、働くことで得られた収入によって可能になることを理解できる。

項目時間	授業内容	使用教材など
導入	0:00 ● <b>授業のねらいを知る</b> 今日は、お金がどのようにしてみなさんの手元にやってくるのか考えてみたいと思います。普段、「お金をどのように使うか」を考えることはあると思いますが、「どのようにお金が手元にやってくるか」は、なかなか考えないと思います。 良い機会なので、みんなで考えてみましょう。	(準備) ■ 進行スライド ■ ワークシート ■ 資料集（必要に応じて）
	1:00 ● <b>導入まんが「お金はどこからやってくる？」</b> スライド2 ある日のこと。お小遣いをもらって、買い物に出かけるあゆむ。 「やっとお小遣いもらったぞ！まんがを買いに行こうと！！」 うきうき出かけましたが、ふと財布に入っているお金の目をとめました。 スライド3 「このお金って、どこからやって来たんだろう？？」 あゆむの頭の中では、お父さん・お母さんが川上から流れてくるお金を、力を合わせてすくいあげている映像が浮かんでいます。	■ 導入まんが スライド2,3 「お金はどこからやってくる？」
展開	3:00 ● <b>個人WORK①</b> あゆむ君の財布に入っているお小遣い（お金）。どのような流れでやってきたのかを考えて、ワークシートに書いてみましょう。 次の順に考えてみましょう。 ①あゆむ君にお小遣いをくれる人は誰ですか？ ②あゆむ君にお小遣いをくれる人は、誰からお金をもらっていますか？ （どのようにして、お金を得ていますか？）	スライド4 ■ ワークシート
	8:00 <b>WORK①の確認 働いてお金を得る</b> あゆむ君にお小遣い（お金）を渡したのは、家族（お父さんやお母さん）、家族は、企業（働いている会社や団体など）から給料をもらいます。 つまり、あゆむ君やみなさんの手元にやってくるお小遣い（お金）は、家族が働いて得たお金ということです。 学校を卒業したら皆さんも、自分で働いて収入を得て生活していくことになります。	スライド5
	13:00 ● <b>個人WORK②</b> 次に、「経済の三主体」（「家計（みなさんや家族）」・「企業」・「政府」）におけるお金とモノ・サービスの流れから「働くこと」について考えてみます。選択肢から言葉を選んで、図を完成させましょう。同じ言葉を2回使っても構いません。  ● <b>WORK②の確認 働くことで、社会に参加する</b> 「働く」ということは、単に生活に必要な収入を得るだけでなく、仕事を通じて社会の「経済活動に参加・貢献する」ということでもあります。 具体的には、モノを生産・販売したり、サービスを提供することで、人々の生活に役立つことです。 また一方では、仕事で得た収入の中から、税金や社会保険料などを納め、社会の一員として国や地方公共団体に貢献します。 働くことでどのくらい収入を得られるかは、基本的にはどのくらい価値を提供できるかによります。	スライド6 ■ ワークシート  スライド7
まとめ	18:00 ● <b>まとめ</b> みなさんの手元にやってくるお小遣い（お金）は、家族が働いて得ているものです。いずれみなさんも学校を卒業したら、自分で働いて収入を得て、生活していくことになります。 また、働くことは「社会の経済活動に参加・貢献する」ことだということ、社会に出るまでに、「自分が提供できる価値を高める」ことが重要であると覚えておきましょう。	スライド8

■ 補足スライド「働き方」を考える

「働く」ことについて、正規雇用・非正規雇用のメリット・デメリット、さらに詳しく説明を加えたい場合などに活用できます。